

# 内閣総理大臣杯争奪第53回西日本実業柔道団体対抗大会報告書

男子

新日鐵住金が17年ぶりの優勝

女子

日本エースサポートA4度目の優勝



開会式で挨拶する森会長



来賓の徳田耕造尼崎市教育長

て自身の心に問いかけることの必要性を説かれた。

引き続き尼崎市関係からの来賓3名様を紹介。来賓挨拶では地元尼崎市を代表して尼崎市教育委員会教育長徳田耕造様から歓迎の言葉を頂戴し、その後、

稲村和美尼崎市長からのメッセージが披露された。

昨年から実施した有力新人選手による選手宣誓は、

旭化成柔道部の新人穴井航史四段が堂々と行つた。

その後、昨年11月に実施した「ラオス柔道指導事業」の派遣メンバーの一員、九州電力株所属の山本泰三氏が、ラオスでの柔道指導体験、成果とこの

事業の意義についてスピーチを行い、開会式を終了。

引き続き、5試合場に分かれて試合が開始された。

第一試合場での全試合及び閉会式の模様をインターネットの「ユーストリーム」を通じて中継放送を行つた。

9時30分、山本裕洋大会委員長の開会宣言にて放送を行つた。

開会式が始まり、国歌斉唱、前年度各部優勝チームによる優勝旗返還の後、森 詳介大会会長

が開会の挨拶を行つた。森会長はその中で、昨今

の柔道界の不祥事について言及され、柔道に励む者全員が品格や礼の精神のあり方について、改め

テ自らの心に問いかけることの必要性を説かれた。

引き続き尼崎市関係からの来賓3名様を紹介。来賓

挨拶では地元尼崎市を代表して尼崎市教育委員会教育長徳田耕造様から歓迎の言葉を頂戴し、その後、

稲村和美尼崎市長からのメッセージが披露された。

昨年から実施した有力新人選手による選手宣誓は、

旭化成柔道部の新人穴井航史四段が堂々と行つた。

その後、昨年11月に実施した「ラオス柔道指導事業」の派遣メンバーの一員、九州電力株所属の山本泰三氏が、ラオスでの柔道指導体験、成果とこの

事業の意義についてスピーチを行い、開会式を終了。

引き続き、5試合場に分かれて試合が開始された。

第一試合場での全試合及び閉会式の模様をインターネットの「ユーストリーム」を通じて中継放送を行つた。

9時30分、山本裕洋大会委員長の開会宣言にて放送を行つた。

開会式が始まり、国歌斉唱、前年度各部優勝チームによる優勝旗返還の後、森 詳介大会会長

が開会の挨拶を行つた。森会長はその中で、昨今



個人表彰

男子の最優秀選手賞の銅賞は、勝負どころで貴重な勝利を収めてチーム優勝の立役者となつた新日鐵住金の増田哲也選手が初受賞。

女子の最優秀選手賞の岡林賞と新人賞の松本賞は3試合オール一本勝、日本エースサポートの新入松岡睦選手が手にした。

男子の新人賞の松本賞は、準決勝戦までの2試合に一本勝を収めた九州電力の七戸虎選手。

男子第二部最優秀選手の米澤賞は、決勝戦までの4試合に勝利して、チーム優勝の原動力となつた東レ滋賀の藤田勇心選手に授与された。

男子第一部は、14連覇中の旭化成Aが初戦で九州電力に敗れるという波乱の幕開けとなつた。決勝戦はその九州電力を準決勝戦で接戦の末に降した新日鐵住金と、初戦を申南柔友会 準決勝戦でダイコロを一蹴し、順調に勝ち進んだ旭化成Bとの対戦となつた。13度目の優勝に意気上がる新日鐵住金と連続記録を何としても死守したい旭化成Bとの熱戦も、新日鐵住金が旭化成の中量級陣を体格で圧倒し、先鋒の齋藤俊選手から中堅の増田哲也選手まで選手の活躍で3年ぶりに決勝戦に駒を進めた戸高鉱業社との対戦。タイで迎えた大将戦を藤田勇心選手が足払い一本で制して第一部復帰を優勝で飾つた。

男子第三部は、昨年より5チーム増の50チームのエンタリーとなつた。先鋒を欠き一人の敗戦も許されない新日鐵住金は昨年、一昨年の全日本実業個人選手権22歳未満の部の強者岡一太朗、小林真也の両選手が全勝で勝ち進み新銳矢野一誠選手等の活躍で初の決勝戦に進出した徳島刑務所Aを危なげなく制して2年ぶり4度目の優勝を遂げた。

女子の部は、昨年の決勝戦の再現となり、昨年

に雪辱して4度目の優勝を飾つた。

日本エースサポートAがJR九州

開会式全景

# 男子第一回

新日鐵住金と旭化成Bとの決勝戦は、新日鐵住金が

先鋒戦から3連勝し、17年ぶり13度目の優勝を遂げる。

新日鐵住金は常勝旭化成Aを初戦で降した九州電力との

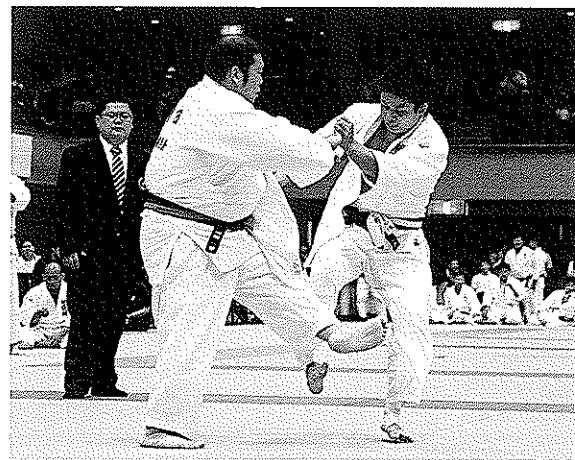
準決勝戦を大将戦で雌雄を決し、7年ぶりに決勝戦に進出。対する旭化成Bは中量級の選手も混じえた布陣ながら甲南柔友会、東レ滋賀を難なく降して3年連続の決勝戦に駒を進めた。

## 準決勝戦 九州電力対新日鐵住金

先鋒戦。共に右組み。身長、体重共に上回る新日鐵住金の齊藤が終始押し気味に試合を進める。

防御一方の九州電力帆高は中盤と終盤に指導を受け、齊藤が優勢勝で新日鐵住金が先手を取る。

次鋒戦。九州電力期待の新人七戸(弟)を、174センチ、81キロ新日鐵住金の武田は左背負



中堅戦 新日鐵住金増田選手が試合をリード、優勝を決める

大将戦。九州電力の近藤は右組み、新日鐵住金の増田は左。共に引手を奪えず、片襟だけの技の応酬はポイントを奪うに至らず。しかし、体重を利して前に圧力をかける増田に守勢に回った近藤は準決勝戦を大将戦で雌雄を決し、7年ぶりに決勝戦に進出。対する旭化成Bは中量級の選手も混じえた布陣ながら甲南柔友会、東レ滋賀を難なく降して3年連続の決勝戦に駒を進めた。

## 準決勝戦 旭化成B対ダイコロ

内燃期を迎えた旭化成B野田に、ダイコロの新人上原が挑む先鋒戦。野田は開始早々に、右組みから振り回すように右一本背負投で上原を抱き、25秒に有効を奪う。その後、両者は組み際のカウンター狙いの技を散発するが、決め手を欠き時間。

旭化成Bがまず一勝。次鋒戦。左右のケンカ組手の両者の対戦は、体格の勝る旭化成Bの辻が左奥襟を押さえて優勢になり、中盤にかけて二つの指導を受ける。長身投で何度もぐらつかせるも、次第に体力差で劣勢となり、中盤にかけて二つの指導を受ける。長身七戸は徐々に攻勢を強め、右大内刈で有効を奪つた後、武田が左背負投に入るところを右送足払で技ありを奪い、そのまま崩裂姿で抑え込んで一本。

中堅戦。九州電力森左、新日鐵住金吉永右のケンカ組手の対戦。吉永は体格で劣るも、ベテランらしく試合巧者ぶりを發揮し森を翻弄。右組みから回り込みながらの左一本背負投で、1分50秒に有利を奪い、再び新日鐵住金がリードを奪う。

副将戦。新日鐵住金の小野は長身から右に組み、左引手を狙う。対する身長で劣り、体重で勝る九州電力川野は左組みで、右引手を欲す。序盤見るべき攻撃の手を休めず、右背負投で鈴木を大きく泳がれ、九州電力が僅差ながらもリード逆転。川野は左組みで、右引手を欲す。序盤見るべき攻撃がなく、共に指導1を受けるも、徐々に川野の優勢が強まって、2分30秒に小野に指導2が与えられ、九州電力が僅差ながらもリード逆転。

## 決勝戦 新日鐵住金対旭化成B

大将戦。新日鐵住金のベテラン齊藤に旭化成Bの増田は左。共に引手を奪えず、片襟だけの技の応酬はポイントを奪うに至らず。しかし、体重を利して前に圧力をかける増田に守勢に回った近藤は準決勝戦を大将戦で雌雄を決し、7年ぶりに決勝戦に進出。対する旭化成Bは中量級の選手も混じえた布陣ながら甲南柔友会、東レ滋賀を難なく降して3年連続の決勝戦に駒を進めた。

次鋒戦。開始29秒に旭化成B海老が身長差19cm、体重差39kgの巨漢新日鐵住金小野の右大内刈を裏投で回転させて有効を奪う。小野は右組みから奥襟を掛ける増田を攻めあぐね、終盤の右背負投が続

けで二つの指導を喫す。2分45秒には海老の苦しみに有効を奪う。その後、両者は組み際のカウンター狙いの技を散発するが、決め手を欠き時間。

旭化成Bがまず一勝。次鋒戦。左右のケンカ組手の両者の対戦は、体格の勝る旭化成Bの辻が左奥襟を押さえて優勢になり、中盤にかけて二つの指導を受ける。長身投で何度もぐらつかせるも、次第に体力差で劣勢となり、中盤にかけて二つの指導を受ける。長身七戸は徐々に攻勢を強め、右大内刈で有効を奪つた後、武田が左背負投に入るところを右送足払で技ありを奪い、そのまま崩裂姿で抑え込んで一本。

中堅戦。体重差49kgの両者の対戦。小兵旭化成B平井から指導1を奪う。その後も海老優勢の内に逆転勝。

中堅戦。共に80kg台、左右のケンカ組み手。旭化成B海老は身長で10cm以上ハンディを背負うが、左背負投を伺いながら前に出て、1分10秒ダイコロ

展開するが、長身平井を持て余して引分。

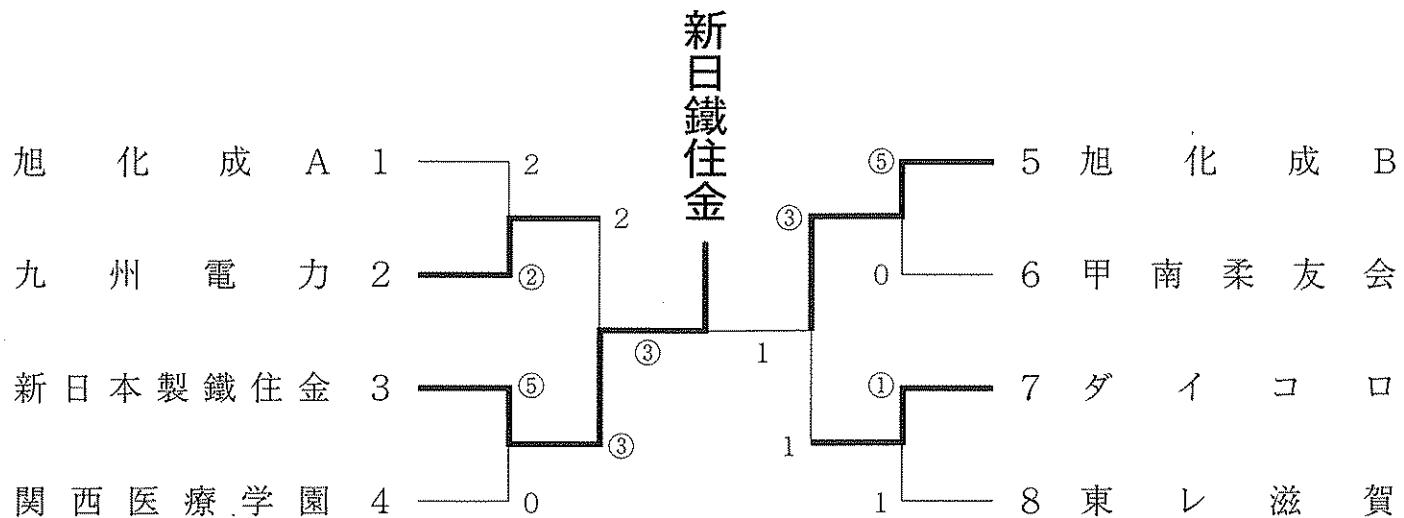
副将戦。旭化成B新人、小林は一回り大きい右組みのダイコロ谷本に臆せず、左体落を軸に積極的に前に出て優位に試合を進め、1分56秒、2分29秒続けて指導を奪う。終盤、小林の攻撃が止んだところを谷本の上から圧力を負けて指導1を失うがここまで。旭化成Bがリードを広げる。

大将戦。共に右組み、中量級同士の対戦。旭化成

B白井は激しい動きから右背負投でダイコロ鈴木を翻弄し1分13秒に指導1を奪う。白井はその後も攻撃の手を休めず、右背負投で鈴木を大きく泳がれ、場外に押し込んで右大内刈から掬投に

変化して鈴木を横転させ一本。旭化成B決勝戦進出。

第一回に回ることになった。



### [男子第一部成績表]

優勝 新日鐵住金  
 準優勝 旭化成 B  
 第3位 九州電力  
 第3位 ダイコロ

### [準決勝 第1試合]

九州電力 2 - 3 新日鐵住金  
 (先鋒) 帆高 純平 3段 優勢勝  $\ominus$  斎藤 俊 3段  
 (次鋒) 七戸 虎 3段 ○ 合 技 武田 茂之 3段  
 (中堅) 森 俊介 5段 優勢勝  $\ominus$  吉永 慎也 5段  
 (副将) 川野 達也 3段  $\ominus$  (指導2) 小野 勇輝 3段  
 (大将) 近藤 雅和 3段  $\ominus$  (指導2) 増田 哲也 3段

### [準決勝 第2試合]

旭化成 B 3 - 1 ダイコロ  
 (先鋒) 野田 嘉明 4段 優勢勝 上原 滋行 3段  
 (次鋒) 辻 玄太 4段 小外刈 ○ 反中 佑起 2段  
 (中堅) 海老 泰博 3段 引 分 平井 泰輔 2段  
 (副将) 小林 督之 3段  $\ominus$  (指導2) 谷本 義人 3段  
 (大将) 白井 勇輝 4段 ○ 接 投 鈴木 明大 3段

### [決勝戦]

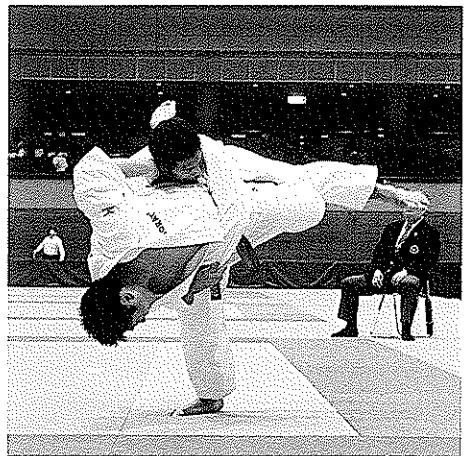
新日鐵住金 3 - 1 旭化成 B  
 (先鋒) 斎藤 俊 3段  $\ominus$  (指導3) 小林 督之 3段  
 (次鋒) 小野 勇輝 3段 ○ 大外刈 海老 泰博 3段  
 (中堅) 増田 哲也 3段  $\ominus$  (指導2) 白井 勇輝 4段  
 (副将) 吉永 慎也 5段  $\ominus$  (指導3) ○ 辻 玄太 4段  
 (大将) 松宮 広 3段 引 分 野田 嘉明 4段



男子一部優勝の新日鐵住金チーム

# 男子 第二部

東レ滋賀が、大将決戦を制し3年ぶり4回目の優勝を果たす



次鋒戦 東レ滋賀岡田選手が内股で一本勝ち

決勝戦は、強敵・近畿通関を大差で破り勝ちあがつた東レ滋賀と重量級を多く配し接戦をものにしてきた戸高鉱業社との対戦となつた。先鋒戦。両者ともに左組み。東レ滋賀の60kg級の小柄な表が戸高鉱業社の巨漢西岡に対し、組んではすぐに技をかけ、果敢に挑むが、1分15秒偽装的攻撃ととられ指導を与えられる。その後、1分22秒、西岡は右の釣手で表を引きつけながら左手で表の左腕を押さえ込み払腰に入れれば、表の体は畳にはずみ西岡の一本勝。

次鋒戦。東レ滋賀の岡田は左、戸高鉱業社の乙名が右のけんか組手。体格は岡田がやや勝るが、似た体格同士の対戦。両者、組み手を探りあいながら慎重な出だし。岡田が左の釣手を乙名の右の釣手の上から持ち制しようとするが、乙名も背負いで対抗する。2分2秒、引き手を握った岡田が今度は釣手を下から持ち変えて乙名の上体をすり上げるようにながら、腰に乗せて跳腰気味に入れば乙名の体は一回転して畳を背負う。岡田の一本勝。

中堅戦。両者左のけんか組手。高橋同士の対戦。高橋は奥襟を持つて、右手で高橋の胸をつき入らせるとともに決めてがなく、時間切れ引き分け。

副将戦。大兵の東レ滋賀の和久田に対し、戸高鉱業社の赤迫は78kgクラス。和久田、何とか赤迫

がつた東レ滋賀と重量級を多く配し接戦をものにしてきた戸高鉱業社との対戦となつた。

先鋒戦。両者ともに左組み。東レ滋賀の60kg級の小柄な表が戸高鉱業社の巨漢西岡に対し、組んではすぐに技をかけ、果敢に挑むが、1分15秒偽装的攻撃ととられ指導を与えられる。その後、1分22秒、西岡は右の釣手で表を引きつけながら左手で表の左腕を押さえ込み払腰に入れれば、表の体は畠に

はずみ西岡の一本勝。

次鋒戦。東レ滋賀の岡田は左、戸高鉱業社の乙

名が右のけんか組手。体格は岡田がやや勝るが、

似た体格同士の対戦。両者、組み手を探りあい

ながら慎重な出だし。岡田が左の釣手を乙名の右の

釣手の上から持ち制しようとするが、乙名も背負

いで対抗する。2分2秒、引き手を握った岡田が今度

は釣手を下から持ち変えて乙名の上体をすり上げる

ようにながら、腰に乗せて跳腰気味に入れば乙

名の体は一回転して畳を背負う。岡田の一本勝。

中堅戦。両者左のけんか組手。高橋同士の対戦。

高橋は奥襟を持つて、右手で高橋の胸をつき入らせるとともに決めてがなく、時間切れ引き分け。

副将戦。大兵の東レ滋賀の和久田に対し、戸高

鉱業社の赤迫は78kgクラス。和久田、何とか赤迫

## [男子第二部成績表]

優勝	東レ滋賀
準優勝	戸高鉱業社
第3位	近畿通関
第3位	九電工

### [準決勝 第1試合]

東レ滋賀 4 - 1 近畿通関

- (先鋒) 表 剛史 2段 反則負 ○ 立花 将志 2段  
 (次鋒) 岡田 建彦 5段 □ 優勢勝 珠玖 龍市 4段  
 (中堅) 木藤 翼 2段 ○ 横四方固 齋藤 皓介 3段  
 (副将) 和久田裕人 3段 ○ 上四方固 山川 陽平 2段  
 (大将) 藤田 勇心 2段 ○ 痛み負 林 未来 2段

### [準決勝 第2試合]

戸高鉱業社 2 - 1 九電工

- (先鋒) 西岡 嵩光 3段 合せ技 ○ 森 貴顕 4段  
 (次鋒) 乙名 将吾 4段 ○ 並十字固 篠原 渉 3段  
 (中堅) 高橋光一郎 5段 引 分 中島 大勝 3段  
 (副将) 赤迫 謙介 5段 引 分 波多江純平 3段  
 (大将) 細田 真史 3段 ○ 扯腰 林 直士 6段

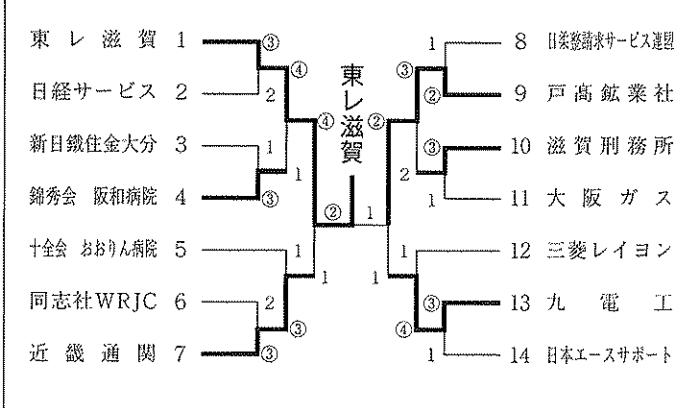
### [決勝戦]

東レ滋賀 2 - 1 戸高鉱業社

- (先鋒) 表 剛史 2段 扯腰 ○ 西岡 嵩光 3段  
 (次鋒) 岡田 建彦 5段 ○ 内股 乙名 将吾 4段  
 (中堅) 木藤 翼 2段 引 分 高橋光一郎 5段  
 (副将) 和久田裕人 3段 引 分 赤迫 謙介 5段  
 (大将) 藤田 勇心 2段 ○ 足払い 細田 真史 3段

を捕まえようとするが、赤迫もしつかりとは組まない。逆に背負投でもぐりこみ、和久田が崩れただところを腕をとり関節に決めようとする。中盤、赤迫が巴投に入ったところを和久田が小外刈に合わせたよう見えたが、判定はなく、両者ともに決め手をかくまま時間切れ引き分け。

大将戦。ついにこの試合で優勝が決まる。共に右組み。体格では戸高鉱業社の細田が東レ滋賀の藤田に若干勝る。パワーのある細田、藤田の奥襟をはたいて足を払いながら体落と猛然と攻める。藤田が圧力に抗しきれず前に崩れる場面もあり、1分20秒、藤田に指導が与えられる。その後、藤田も反撲、釣手をがつちり引いて小内刈で細田の右足をはらつて、左足を出させてしま間に大内刈に入ろうとする。1分58秒、細田がこれに対抗して、藤田の足を刈ろうと右足を上げた瞬間、小外刈気味にその足を払えば、細田はもんどうりをうつて倒れる。藤田が鮮やかな一本勝で大将決戦を制し優勝を決める。



男子二部優勝の東レ滋賀チーム

# 男子第三部

、新日鐵住金が徳島刑務所Aを下し三部では2年ぶりの優勝を遂げる、

決勝戦は、2人で勝ち抜いてきた新日鐵住金と接戦をものにしてきた徳島刑務所Aとの対戦となつた。先鋒を欠く新日鐵住金はこれまでの3試合全て2対1で下し、勝ち上がりがつてきていた。

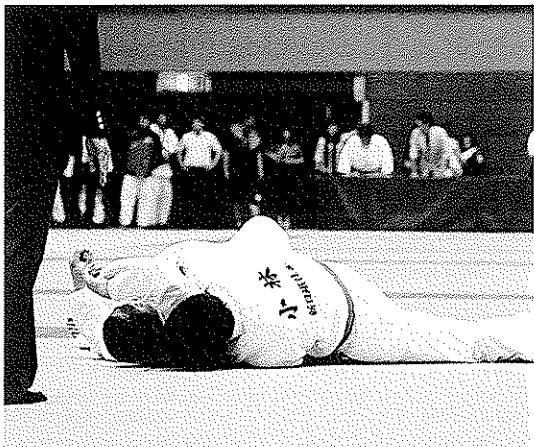
先鋒戦は徳島刑務所Aの不戦勝。

中堅戦。ともに左組み。新日鐵住金の岡は徳島刑務所Aの巨漢・矢野の釣手をうまく殺して、十分な体制にさせない。絶えず動きながら足技をかけて矢野をぐらつかせ、1分すぎには大内刈で矢野を大きく横転させる。ポイントとはならなかつたが、その後の1分27秒矢野に指導が与えられる。矢野は攻勢に出ようとすると、1分44秒には袖口で指導を与えられ、その後もなかなか技を出し切れず、逆に岡の足技に巨体を大きく浮かせる場面もあり、3分8秒3回目の指導が与えられる。岡は終始矢野を翻弄し手堅く勝ちを収める。

大将戦。新日鐵住金の小林・徳島刑務所Aの星野、身長は小林がまさるが、体重は同じくらい。ともに

右組みの対戦となる。両者、互いの釣手を十分に持たせず、序盤は両袖を持ちながらの攻防となるが、小林が組み際に攻めるのに対し星野は技がせず、1分9秒、星野に指導が与えられる。その後も、小林が攻勢にてて、小外刈で星野の体を何度も宙に浮かせ、2分5秒星野に2回目の指導。その後、またもや小外刈から逃れた星野が腹ばいになつたところ、小林後ろについて、星野の両脇から両手を差し入れ星野の横襟を握りながら、自分の腹の上で星野の体を1回転させて、星野の右脇から差し入れた自分の右腕で星野の首を制し体側について肩固に押込む。見事な一本勝ちで優勝を飾る。

新日鐵住金の両選手ともに足技にすぐれ、不十分な組み手からでも技をしきけ常に試合の主導権を奪っていく戦いぶりは見事であり、一度も負けられない状況で初戦から決勝までの5試合を全て2人で戦い抜き、2人で10試合全ても勝利を収めた精神力は見るものに感動を与えた。



大将戦 新日鐵住金小林選手が肩固に抑え込む

## [男子第三部成績表]

優勝	新日鐵住金
準優勝	徳島刑務所A
第3位	戸高鉱業社
第3位	関西医療学園A

## [準決勝 第1試合]

戸高鉱業社	1	-	2	新日鐵住金
(先鋒)	安東平八郎	3段	○	不戦勝
(中堅)	崎村栄一郎	2段	内股	○ 岡 一太朗 3段
(大将)	崎村 徳樹	2段	(指導3)	⊖ 小林 真也 2段

## [準決勝 第2試合]

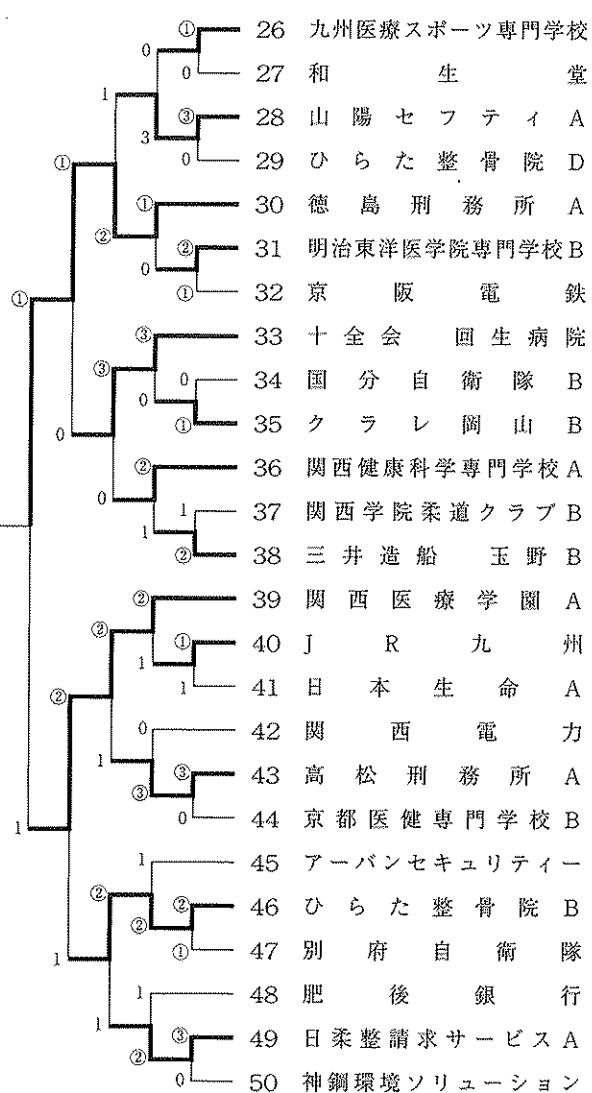
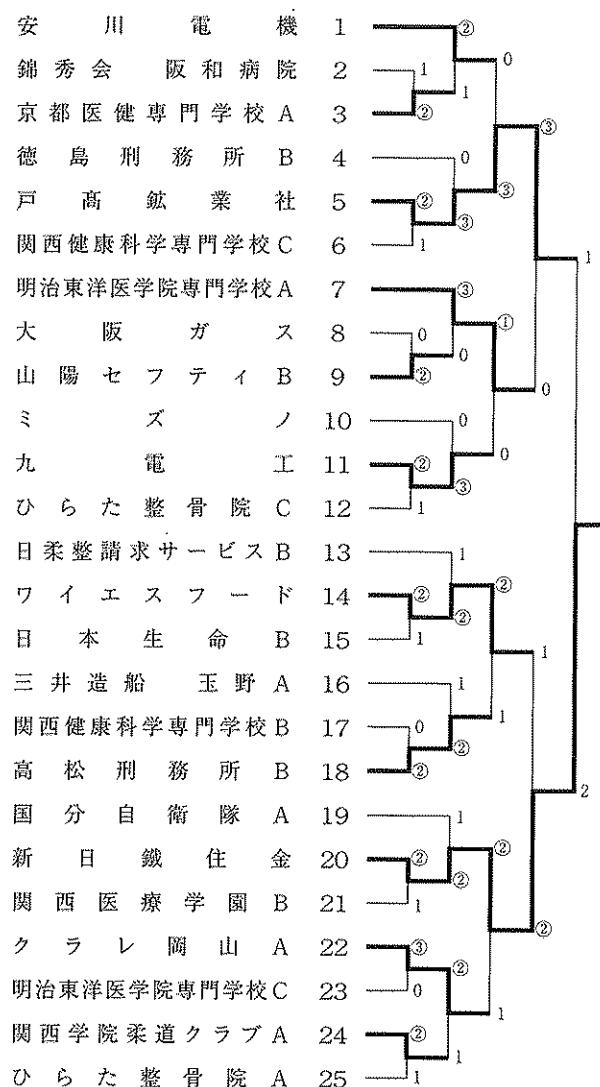
徳島刑務所A	①	-	1	関西医療学園A
(先鋒)	清水 大樹	4段	(指導2)	⊖ 三木 秀輝 3段
(中堅)	矢野 一誠	2段	○	返し技 水野 翔太 2段
(大将)	星野 誠基	3段	引 分	阿部 建太 4段

## [決勝戦]

新日鐵住金	2	-	1	徳島刑務所A
(先鋒)	酒井 高喜	3段	○	清水 大樹 4段
(中堅)	岡 一太朗	3段	⊖ (指導3)	矢野 一誠 2段
(大将)	小林 真也	2段	○	肩 固 星野 誠基 3段



男子三部優勝の新日鐵住金チーム



銅賞受賞

新日鐵住金の増田哲也選手



岡林賞、松本賞の二冠受賞

日本エースサポートAの松岡睦選手



米澤賞受賞

東レ滋賀の藤田勇心選手

### 【優秀選手】

男子第一部最優秀選手：銅賞	増田 哲也 (新日鐵住金)
女子最優秀選手	松岡 睦 (日本エースサポートA)
男子第二部最優秀選手：米澤賞	藤田 勇心 (東レ滋賀)

新人賞：松本賞 (男子 1名)	七戸 虎 (九州電力)
新人賞：松本賞 (女子 1名)	松岡 睦 (日本エースサポートA)

優秀選手	男子第一部	斎藤 俊 (新日鐵住金)
		小野 勇輝 (新日鐵住金)
		辻 玄太 (旭化成B)

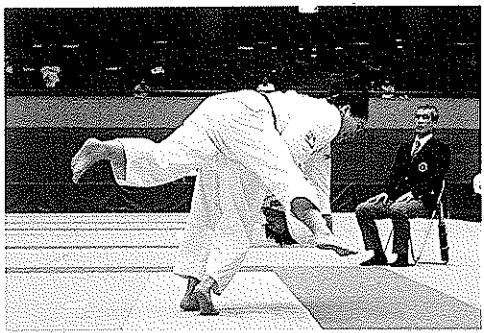
男子第二部	木藤 翼 (東レ滋賀)
	和久田裕人 (東レ滋賀)
	西岡嵩光 (戸高鉱業社)

男子第三部	岡一太朗 (新日鐵住金)
	小林 真也 (新日鐵住金)
	矢野一誠 (徳島刑務所A)

女子の部	畠村 亜希 (日本エースサポートA)
	只野真梨枝 (JR九州)
	石川笑美子 (日本エースサポートA)

# 女子の部

「日本エースサポートAは昨年度優勝のJR九州を2対0で下し2年ぶり4度目の優勝を遂げた。」



先鋒戦 日本エースサポートA松岡選手が袖釣込腰で一本勝

決勝戦は、無敗で勝ち進んできた強豪日本エースサポートAと昨年創部で優勝のJR九州の対戦となつた。先鋒戦。JR九州の石本は左、日本エースサポートAの松岡は右のけんか組手。両者なかなか引き手をとれず、技が出ないが、JR九州の石本が前に出て押し気味に試合を進め、1分35秒日本エースサポートAの松岡に対し指導。続けて、2分27秒松岡に2回目の指導が与えられ、石本がリードする。さらに、石本は圧力をかけようとするが、3分、前に出る石本に対し松岡袖釣込腰に入れば、その腰に石本は乗つてしまい、くると回つて背中から落ちる。松岡見事な一本勝ち。

中堅戦。JR九州の只野は左、日本エースサポートAの石川は右のけんか組手。なかなか互いに組めないが、体格差に押され、やや守勢にまわつた只野に対し1分10秒指導が与えられる。その後、只野も前に出る。両者互いに相手の足を払おうとするが、そこから技の展開はない。小競り合いのうちに時間切れ、引き分け。

大将戦。共に左組み。JR九州の山崎は左、日本エースサポートAの畠村は右のけんか組手。体格では日本エースサポートAの畠村が一回り大きい。開始20秒、山崎が技に入り返るところを畠村袖釣込腰に入れば山崎は横転、有効となる。山崎は猛然と攻めに出る。52秒、畠村の奥襷を後ろ手になりながら強引に握り松腰に巻き込めば、畠村の巨体がついていき有効となる。その後も山崎が攻めに出て、1分27秒畠村に指導が与えられるが、2分29秒、畠村、山崎の腰を横から大外気味に刈れば山崎崩れ落ち、技ありとなる。更に、強引に持ち上げながら仰向きに返し、腕を決めて上四方固に抑え込み合わせ技一本。ポートA無敗の優勝が決まった。

## 〔女子の部成績表〕

優勝	日本エースサポートA
準優勝	JR九州
第3位	日本エースサポートB
第3位	樽谷塾

## 〔準決勝 第1試合〕

JR九州 2 - 1 日本エースサポートB

(先鋒) 石本智子 2段 ⊖ 優勢勝 広村麻衣 2段  
(中堅) 只野真梨枝 3段 ○ 横四方固 鈴木亜紀奈 3段  
(大将) 山崎裕子 2段 優勢勝 ⊖ 新田沙也加 3段

## 〔準決勝 第2試合〕

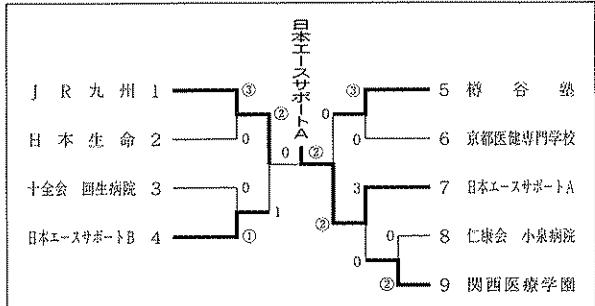
樽谷塾 0 - 2 日本エースサポートA

(先鋒) 坂巻知春 3段 上四方固 ○ 松岡睦 3段  
(中堅) 松本麻美 3段 大内刈 ○ 石川笑美子 3段  
(大将) 大川愛 3段 引分 畠村亜希 3段

## 〔決勝戦〕

JR九州 0 - 2 日本エースサポートA

(先鋒) 石本智子 2段 袖釣込腰 ○ 松岡睦 3段  
(中堅) 只野真梨枝 3段 引分 石川笑美子 3段  
(大将) 山崎裕子 2段 上四方固 ○ 畠村亜希 3段



女子の部優勝の日本エースサポートAチーム

## ラオス指導報告要旨

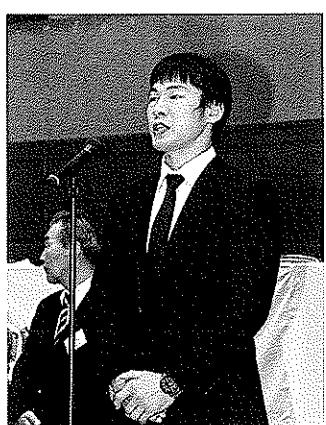
開会式で九州電力柔道部の山本泰三氏がラオス指導報告を行いました。山本氏は昨秋、当連盟の「ラオス柔道指導事業」の指導員としてラオスに派遣。要旨は次の通りです。

### 〔ラオス指導報告要旨〕

ラオスは、赤道近くタイの内陸側に隣接する国で、乾季ながら、気温約30度と同じとしているだけでも汗が滴る環境下、首都ビエンチャンのラオ・ジャバーン武道センターにて柔道指導が行われました。熊井憲治先生が精力的に指導に当たられており、3年前に日本の援助でラオ・ジャバーン武道センターが建設されたこともあり、急速に普及拡大しています。

今回の指導はナショナルチームを中心に行われました。選手の柔道に取り組む姿勢は素晴らしい、貪欲に多くの技術を学びたいという気持ちで正面からぶつかってきてくれました。これに応えるべく、身振り手振りを交えながら技の指導に励み、初め多少言葉の壁を感じたものの、お互いの気持ちが通じ合うことで、容易にその壁を乗り越えることができました。柔道は国際交流の一つの手段として非常に有効なものと実感いたしました。また、私は忘れず柔道に取り組む姿勢は見習わなければならぬと逆に教えられたように思います。「場所があること」、「柔道着があること」、「相手がいること」等、当たり前のことでも実は周囲のサポートがあることこのことで、「おかげさま」の謙虚な心を常に持ち続けることの大切さを今回の派遣事業に参加して学ぶことができました。

今回、他国の柔道環境に触れることで、自身の見識が深められたよう思います。この経験を活かし、今後の日本また世界柔道の更なる発展に少しでも寄与できればと考えています。



柔道ルネッサンス・スピーチの九州電力 山本泰三氏

柔道ルネッサンス・スピーチ

# 森会長開会挨拶抜粋

森 詳介連盟会長は開会式の挨拶において、今回の

柔道界の一連の不祥事にふれ、柔道に対する評価が大きく下がつたことを大変憂慮しており、柔道をするものが、品格や礼の精神を軽んじてきたことがなかつたか、

今一度反省するとともに、自分自身もその気持ちを柔道ルネッサンス運動に反映させていきたいと述べました。

この挨拶は「柔道界憂え長文あいさつ」として5月25日の読売新聞夕刊にも掲載されました。

## 【森会長挨拶 抜粋】

今年に入り、度重なる不祥事により、柔道に対する評価が大きく下がつたことは残念なりません。今こそ、柔道をする者には「品格」が求められていると私は思います。「品格」とは自己に対する節度・節操であり、他者に対する思いやりであります。

今回のこと機に、勝利至上主義に流され、「柔道の心」である「品格」や「礼」の精神を軽んじてきたところがなかつたか、柔道にたずさわる全ての者が、今一度、自身の心に問いかける必要があります。

私も、この反省を柔道ルネッサンス運動に反映させるべく、皆さんとともに力を尽くしてまいる所存でございます。

本大会におきましても、選手諸君には、ただいま申し上げたことを肝に銘じ、これまで培つた技と力を遺憾なく発揮するとともに、「礼法」をしつかりとを行い、柔道を学ぶ少年少女が魅力を感じるような、「品格」ある、すがすがしい試合をされることを期待しています。

# 「平成25年度 総会・理事会・常任理事会合同会議」の開催

# 連盟インフォメーション

☆当連盟のホームページ。

<http://www.westjiudo.jp/>

※本大会のより詳細な情報は当連盟ホームページを「覧下さい。」

「平成25年度総会・理事会・常任理事会合同会議」は平成25年5月18日(土)15時からベイコム総合体育館(尼崎市記念公園)において開催されました。  
総会は、110名の正会員中、出席42名、委任状提出50名、合計92名により成立。議長には鶴田 翔副会長が選出され、第1号議案、第2号議案(左記の通り)とも満場一致で可決承認されました。

## 第1号議案 平成24年度事業報告ならびに収支決算報告について

- ① 平成24年度 事業報告
- ② 平成24年度 収支決算報告
- ③ 平成24年度 収支決算監査報告

## 第2号議案 平成25年度事業計画案ならびに予算案、役員改選案について

- ① 平成25年度 事業計画案
- ② 平成25年度 予算案
- ③ 平成25年度 役員改選案

尚、役員の改選は次のとおりです。

松本秀作 ダイコロ(株)

発行日

平成25年6月20日

発行

西日本実業柔道連盟

発行人

西日本実業柔道連盟

編集

西日本実業柔道連盟広報委員会

印刷

ダイコロ株式会社



ユーストリーム撮影風景